京都府教育委員会認定フリースクール
聖母の小さな学校
2023 年
5 月 1 日発行
第 258 号

聖母の小さな学校 通信 3

光と風の中で心を元気に！

風薫る五月、爽やかな日々が続いております。平素は聖母の小さな学校の教育に格別のご理解とご支援をいただき、深く感謝申し上げます。新学期が始まり、一ヶ月が経ちました。在籍する生徒たちも自身の生活を整えようとする様子が少し見えるようになりました。今まで、ぐったりとした体、どんよりとした気持ち、暗く重い日々、先の見えない状態、自分の力では変えることができそうにないような、そんな自分自身からの出発です。先が見えない事、どうすることも出来ない事、とてつもなくしんどく、絶望的な事を、あきらめてしまうのではなく、今、なんとかなるかもしれない、今ちょっとやってみようと思える事はすごい力です。すぐに聖母に毎日通えたりするわけではありません。今日は普通に朝起きることができた、朝食を家族と食べた、登校時間に間に合った、とか、小さな事です。その小さな事を行っていると、気が付いたら週 3 日続けて登校していた、授業も面白かった、家で宿題をして過ごすことができてうれしかったなど、その生徒のやり方で自立へのプロセスを歩んでいきます。ここには、人生の様々な局面に対応するための学びがあります。一人一人丁寧に見てゆきたいと思います。また、絶望的な日々を子どもと友に過ごす保護者のつらさは、推し量るに余りあるものがあります。子どもを正しく捉える事を通して、希望が持てるよう支えてゆきたいと思います。

4/13　陶芸教室

4 月には、ミニハイキング（4/18）など、取り組みやすい行事を取り入れました。1 時間足らずでしたが、柔らかな緑の山の中で鳥の声を聞き、山の音を聞き、遠くの海を見、草花を摘んだりしながら歩きました。また、美術の授業では屋外での写生（4/21）に行きました。「絵を描いているときは何も考えなくていいから、楽しい」。まだ未完成ということもあり、また描きに行きたいと言っています。できるだけ外に出る体験を企画していきます。

文部科学省は、令和 5 年 3 月 31 日付けで「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策について」通知を出しました。文部科学大臣が本部長となり、「推進本部」を設置し、プランの進捗状況を管理し、取組における改善をはかるそうです。本校では、生徒たちの歩みやそのやり方を丁寧に見、一人一人に寄り添う教育をしてゆくことが大切であると考えています。生徒が「学び」の継続を獲得できるよう導いてゆきたいと思います。

今月もよろしくお願いいたします。また、中学生、高校生の入学はいつでも受け付けております。
まずはご相談くださいますよう、お電話をお待ちしております。

＜今月の主な行事＞

9 日（火）・23 日（火）ウズベキスタン学習
10 日（水）・18 日（木）ギター教室（北浦先生）
11 日（木）・25 日（木）陶芸教室（高井先生）
16 日（火）釣り大会
17 日（水）体育（渡邊先生）・教員研修会
20 日（土）五月祭
22 日（月）華道教室（山中先生）
26 日（金）心身障碍者施設ボランティア
月例保護者会（19:00～）
30 日（火）ハイキング

＜余禄＞

コロナ禍で 3 年間中断しておりました「五月祭」を開催いたします。これは、聖母の小さな学校の教育に賛同し、協力し、導いてくださっている多くの方々や卒業生の保護者が、「今、聖母で学んでいる生徒や卒業生、その保護者とスポーツフェスタ以外にもゆっくり話せる機会、心和む交流の場があったほうが良い。聖母での交わりは、心の底まで自分の気持ちが和んでくる」との言葉から始まりました。言わば『聖母ファミリー』の集いです。どうぞお越しくださり、心和むひと時をお過ごしください。

《　五月祭　》日時：5 月 20 日（土）11：00～14：00　　場所：聖母の小さな学校